

▼フレンズコーナー

庄内・社会基盤技術フォーラム

庄内・社会基盤技術フォーラム 委員長
山形大学 農学部 教授
安中 武幸



■当フォーラム発会の主旨

山形県庄内地域の土木技術者のレベルアップと連帯感を高めることをねらいとして、産学官の土木技術者有志が連携し、研修及び交流の場を提供することにより、地域の土木技術者が新しい技術動向をとらえ、自ら応用し、更に他地域への情報発信をめざすことを支援し、地域の発展に貢献するとの趣旨のもと「庄内土木フォーラム」として、準備委員会を平成 10 年 11 月に発足しました。

平成 16 年 7 月、自然環境を無視できなくなった社会環境、及び建築分野を包含することによるフォーラムの拡大発展と活性化を目的に、名称を「庄内・社会基盤技術フォーラム」に変更しました。

平成 11 年 3 月の第 1 回フォーラムから 21 年に渡り、毎年年に 1～2 回の発表会を開催して、今年度で第 28 回の開催を行っています。

■運営委員会および実施体制

第 1 回フォーラム開催に向けて準備委員会を発足した後、平成 11 年 7 月に「運営委員会」を発足しました。現在のメンバーは、下記の通りです。

- ・委員長：安中武幸（山形大学農学部 教授）
- ・委員：呉尚浩（東北公益文科大学 教授）／本橋元（鶴岡高等専門学校 教授）／是谷実（酒田工業高等学校 教諭）／高野明（国土交通省酒田河川国道事務所 所長）／森田有一（国土交通省酒田港湾工事事務所 所長）／上原芳久（東日本高速道路株式会社鶴岡管理事務所 所長）／藤井昌道（酒田市 建設部長）／中川繁（鶴岡市建設部 参事）
- ・事務局：小池禎一（前田製管株式会社 総務・人事 G 次長）

フォーラムは、上記の「運営委員会」の他、「協賛」：（一社）東北地域づくり協会と、「共催」：（一社）土木学会東北支部／山形県建設業協会鶴岡・酒田支部／NEXCO 東日本(株)により、実施しています。

■フォーラムの内容

フォーラムは、招待者による「特別講演」1～2 題と、庄内地域の産学官の技術者や大学生・高専生による「事例・研究発表」10 題弱で、午後半日を掛けて行います。これまで「特別講演」の講師は下表の 31 名、「事例・研究発表」の数は 287 題を数えます。参加者は、「事例・研究発表者」と同様の庄内地域の産学官の技術者や大学生・高専生で、毎回 100 名程度が参加します。

開催年	回	講演者	所属	演題
H11	1	長瀧 重義 氏	新潟大学 工学部	コンクリート技術の現状と将来展望
	2	蒔田 貴 氏	二チレキ(株) 取締役副社長	コンクリートの常識それほど
		牛島 栄 氏	(株)青木建設 研究副所長	コンクリートの電気化学的補修工法について
H12	3	佐々木 俊介 氏	(株)三菱総研 研究理事	社会資本整備とくらしの豊かさ
	4	樋野 勝巳 氏	ショーボンド建設(株) 補修工学研究所 所長	施工からみた構造物の補修補強
H13	5	丸山 久一 氏	長岡技術科学大学 工学部 環境・建設系 教授	コンクリート構造物の耐震技術の動向について
H14	6	山路 徹 氏	独立行政法人 港湾空港技術研究所 材料研究室	港湾コンクリート構造物の耐久性および維持管理
		小牟禮 建一 氏	同滞在研究員 (ショーボンド建設(株))	

	7	館林 茂樹 氏	NPO法人 庄内エコプランニング 理事長（前立川町町長）	近年の地方行政と立川の風力発電
H15	8	西村 修 氏	東北大学大学院 工学研究科 土木工学専攻 環境生態工学研究室 教授	干潟の修復をめざした公共事業の重要性
H16	9	鈴木 基行 氏	東北大学大学院 工学研究科 土木工学専攻 教授	三陸南地震によるコンクリート構造物の被害と耐震補強
H17	10	三浦 尚 氏	東北大学 名誉教授	極低温の世界へのコンクリートの利用
H18	11	横山 正信 氏	鹿島建設(株)東北支店 土木部長	宮球場改修工事で使われた技術と今後の取り組み
H19	12	細田 衛士 氏	慶應義塾大学 経済学部 教授	“循環型社会”の構築にむけての地域の役割、関係者の連携
H20	13	運上 茂樹 氏	独立行政法人 土木研究所 耐震研究グループ 上席研究員	最近の地震による橋梁被害と耐震設計
		俵谷 祐吉 氏	国土交通省 酒田河川国道事務所 所長	道路をめぐる最近の話題
H21	14	山野井 徹 氏	山形大学理学部 地球環境学科 教授	庄内砂丘の生い立ち
10周年 記念行事		牛山 泉 氏	足利工業大学 学長	地球温暖化防止に寄与する再生可能エネルギー
H22	15	西川 和廣 氏	国土交通省 国土技術政策総合研究所 所長	戦略的維持管理とは何か
H23	16	片田 敏孝 氏	群馬大学大学院工学研究科社会環境デザイン工学専攻教授、広域首都圏防災研究センター長	天候異変の下で揺らくわが国の避難行政
H24	17	中村 功 氏	東洋大学 社会学部 教授	災害と情報
H25	18	水野 瑛己 氏	公益財団法人 自然エネルギー財団 上級研究員	再生可能エネルギーの現状と風力発電普及のための政策
H26	19	小山内 信智 氏	独立行政法人 土木研究所 土砂管理研究グループ長	最近の大規模土砂災害とその対応
H27	20	太田 健治 氏	山形地方気象台 地震・津波防災官	山形県とその周辺の地震・津波・火山
H28	21	室碓 益輝 氏	神戸大学 名誉教授	事前復興と地域創生～次の巨大地震にどう備えるか
H29	22	宮本 卓治郎 氏	横浜国立大学総合海洋教育・研究センター 特任教員	技術者と災害
H30	23	岡田 晃 氏	㈱ANA総合研究所 代表取締役社長	空港機能と地方活性化
R1	24	中澤 博志 氏	山形気象台 台長	「逃げる」社会へ
R2	25	塚田 幸広 氏	公益社団法人 土木学会 専務理事	国土・インフラを築き守る土木のチカラ
R3	26	風間 聡 氏	東北大学大学院 土木工学専攻 教授	気候変動下での水に関する問題
R4	27	浜岡 秀勝 氏	秋田大学 理工学部 システムデザイン工学科 教授	交通インフラ整備による地域振興とグリーン社会の実現

■最新情報

令和3年度の第27回フォーラムは、コロナ禍でしたが、今年の2月28日に、WEBで開催し、参加者は106名に昇りました。大学生・高専生の発表もあり、発表できたことに、感謝と感激の感想をいただきました。このように若い人材を含めて、今後も許される限り、産学官ともに一堂に会して技術者の研鑽のため、引続き開催して行きたいと考えています。

